

埼玉県野球連盟会長
JABA埼玉県野球協会顧問
一般社団法人関東軟式野球連盟連合会理事長
東京新大学野球連盟審判部長
さいたま市野球連盟連合会名誉会長
さいたま市野球連盟連合会大宮野球連盟名誉会長

故程塚孝作儀

戒名 壽^{じゅ}旭^{きょく}慶^{けい}作^{さく}清^{せい}居^こ士^じ位

埼玉県野球連盟・JABA埼玉県野球協会・程塚家

お別れの会

日時 令和3年7月17日(土)午後1時

場所 ラフレさいたま 櫻ホール
さいたま市中央区新都心3-2

程塚孝作 (ほどづか こうさく)



球歴

埼玉県立春日部中学校 春日部高校
岩田鑄造(株) (社会人野球チーム)

1949年(昭和24年)

埼玉県高等学校秋季埼玉県大会優勝
同関東大会出場

1951年(昭和26年)

日本通運株式会社入社

1953年(昭和28年)

都市対抗野球大会埼玉県予選会 優勝(岩田鑄造(株))
同南関東大会出場

1959年(昭和34年)

埼玉県野球連盟・埼玉県高等学校野球連盟 審判員となる

1964年(昭和39年)

日本社会人野球協会埼玉支部 審判員となる
埼玉県野球連盟 理事就任
(財)全日本軟式野球連盟主催全国審判講習会を受講
埼玉県野球連盟の審判講習会の講師として審判員の技術向上のための指導に当たる

1966年(昭和41年)

埼玉県野球連盟 常務理事就任

1967年(昭和42年)

(財)日本野球連盟主催全国審判講習会に昭和42年より44年まで3年間受講
第22回国民体育大会に役員・審判員として出場

1969年(昭和44年)

日本社会人野球協会審判委員会の審判員としてスポニチ大会他全国大会・第40回都市対抗野球大会に出場、以来1996年(平成8年)第67回都市対抗野球大会まで現役審判員として活躍

1970年(昭和45年)

埼玉県野球連盟 審判部運営委員会運営委員就任

1976年(昭和51年)

埼玉県野球連盟 審判部運営委員副委員長就任

1977年(昭和52年)

東京新大学野球連盟 審判部長就任
日本野球連盟東京審判委員会 幹事就任
日本野球連盟東京審判委員会の幹事として県内審判員の技術の向上と育成に努力し、都市対抗野球大会等の審判員を養成する

1978年(昭和53年)

埼玉県野球協会 常務理事就任

1979年(昭和54年)

大宮市野球連盟 理事長就任
日本野球連盟 埼玉支部常務理事就任

1980年(昭和55年)

第26回世界アマチュア野球選手権大会に日本代表審判員として出場(参加国各地区代表12カ国)

1983年(昭和58年)

日本野球連盟 全国審判講習会の講師として指導に当たる
(第25回(昭和58年)～第33回(平成3年))

1984年(昭和59年)

西太平洋野球大会(グアム)に日本代表審判員として出場

1987年(昭和62年)

第14回アジア野球選手権大会兼ソウルオリンピックアジア地区予選に審判員として出場 6試合担当
日本通運株式会社東京支店次長
埼玉県野球連盟 審判部運営委員会運営委員長就任
日本野球連盟埼玉県野球協会 審判部長就任

1992年(平成4年)

日本通運株式会社退社

1999年(平成11年)

埼玉県野球連盟 理事長就任
関東軟式野球連盟連合会 理事就任

2000年(平成12年)

(財)埼玉県体育協会 理事就任

2002年(平成14年)

(財)全日本軟式野球連盟 理事就任
(財)日本オリンピック委員会強化スタッフ就任
(平成14年～平成18年)

2003年(平成15年)

(財)さいたま市体育協会 理事就任
(財)全日本軟式野球連盟 資格審査委員会委員長就任
さいたま市野球連盟 副会長就任

2004年(平成16年)

さいたま市野球連盟 大宮支部長就任
(財)埼玉県体育協会 評議員就任

2005年(平成17年)

(社)全国野球振興会、日本プロ野球OBクラブ野球指導者養成認定制度整備事業委員会 委員就任
(財)全日本軟式野球連盟用具委員会 委員長就任
(財)全日本軟式野球連盟国民体育大会担当 理事就任

2009年(平成21年)

(財)全日本軟式野球連盟国体対策 副委員長就任

2010年(平成22年)

(財)さいたま市体育協会 副会長就任

2011年(平成23年)

関東軟式野球連盟連合会 理事長就任

2013年(平成25年)

埼玉県野球連盟 会長就任

2021年(令和3年)

一般社団法人関東軟式野球連盟連合会 初代理事長就任

表彰歴・受賞歴

- 1980年(昭和55年) 埼玉県体育協会功労賞受賞
- 1989年(平成元年) 日本野球連盟・毎日新聞社・都市対抗野球大会功労賞
- 1994年(平成6年) 全日本軟式野球連盟功労賞
- 2010年(平成22年) さいたま市文化賞
- 2011年(平成23年) 日本体育協会功労賞
- 2013年(平成25年) さいたま市体育協会特別功労賞
- 2014年(平成26年) 埼玉県スポーツ関係団体役員表彰
- 2016年(平成28年) 全日本軟式野球連盟 名誉総裁・会長表彰
- 2017年(平成29年) 旭日双光章受賞(スポーツ振興功労)

旭日双光章受章 平成二十九年四月二十九日



旭日双光章 勲記、勲章

毎 日 新 聞

県内から197人 春の叙勲

春の叙勲が29日付で発令され、県内からは197人が受章する。内訳はさまざま分野で功績のあった人に贈られる旭日章が32人で、国や自治体の業務に貢献した人への瑞宝章が165人。【森有正】(受章者名簿の敬称略、年齢は発令日現在。大綬章、重光章、中綬章、外国人、外国居住者の受章者は特集面に掲載)

旭日双光章

程塚 孝作さん(84)

さいたま市北区



野球審判で後進指導

小さい時から野球に親しみ、選手を引退後は、審判員を務める傍ら後進の指導、野球の普及に尽力してきた。

「好きな野球に関わり続けたい」と思っていたので、思っていたより早く審判員に就任した。戦後、春日部で野球を始め、川口市の社会人野球チームとしてプレーした。

旧大宮市(現さいたま市北区)出身。9歳の時に県営大宮公園野球場で野球を観戦し、「汗水垂らして一生懸命プレーする姿に興味を持った」。戦後、春日部で野球を始め、川口市の社会人野球チームとしてプレーした。

肩を痛めて現役を引退した後は審判員に転身。第26回世界選手権(1980年)やソウル五輪のアジア地区予選(87年)、都市対抗などの大舞台でジャッジの大役を担った。

その一方、審判講習会の講師として半世紀近くにわたって後進を指導。「いくら技術や体力があっても人間性がないとだめ」との信念を持つ。学童野球や女子野球の大会開催にも尽力した。

現在も県野球連盟会長など要職を務め、今年も年7回ほど審判講習会で講演する。「野球に対してまだまだ情熱を持っている。少しでも受章の恩返しをしたい」と意欲を新たにしている。

【鈴木拓也】



S
B
O

松 6 4 2 3 7 D 8 5 9 P
下 田 西 九 西 井 小 松 北 木 赤
電 原 岡 鬼 雄 上 坂 井 口 下 井
1 2 3 4 5 6 7 8 9 R H E
N
M

日 8 4 7 5 2 3 D 9 6 P
本 高 木 菊 若 大 徳 軽 白 野 川
石 林 下 池 林 保 永 部 井 島 村
PL 1B 2B 3B LL RL
程 松 横 熊 坂 幕
塚 本 田 沢 本 内

三
壘
側

門
真
市

横
浜
市

一
壘
側

MITSUBISHI



朝 日

JIITSU パソコンFMV

もつと



第67回都市対抗野球大会 開幕試合 1996年8月23日

写真提供：毎日フォト・サービス



お礼の言葉

埼玉県野球連盟会長、一般社団法人関東軟式野球連盟連合会理事長、さいたま市野球連盟連合会名誉会長、大宮野球連盟名誉会長、埼玉県野球協会顧問
故 程塚孝作 儀 お別れの会に際しましては 御多忙のところご出席を賜り誠にありがとうございました。

さぞかし故人も短い時間ではありましたが皆様にお会いすることができ大変喜んでのことと思います。

「野球人生に悔いはなし」の言葉とともに、生前賜りましたご厚情に深謝し謹んで御礼申し上げます。

